

(別紙)

売払い物品の概要

溶融飛灰

試料	成分分析結果									放射性物質				備考	量(kg)
	金 (mg/kg)	銀 (mg/kg)	銅 (%)	パラジウム (mg/kg)	総水銀 (mg/kg)	カドミウム (mg/kg)	鉛 (mg/kg)	砒素 (mg/kg)	セレン (mg/kg)	ヨウ素131 (Bp/kg)	セシウム134 (Bp/kg)	セシウム137 (Bp/kg)	セシウム合計 (Bp/kg)		
溶融飛灰-1	250	230	0.12	42	<0.1	66	380	370,000	200	10以下	10	39	49	平成28年2月発生分	149.0
溶融飛灰-2	760	490	0.23	120	<0.1	87	560	21,000	35	10以下	10	39	49	平成28年12月発生分	227.0
溶融飛灰-3	960	850	0.35	290	<0.1	150	1,200	26,000	260	10以下	10	56	66	平成29年1月発生分	410.8
溶融飛灰-4	880	730	0.34	270	<0.1	130	1,100	37,000	310	10以下	10	54	64	平成29年2月発生分	457.7
溶融飛灰-5	920	640	0.30	280	<0.1	110	670	17,000	210	10以下	10	43	53	平成29年3月発生分	427.1
溶融飛灰-6	770	17	0.23	320	<0.1	64	400	17,000	180	10以下	10	34	44	平成29年4月発生分	404.9
溶融飛灰-7	770	540	0.24	360	<0.1	89	540	16,000	180	10以下	10	46	56	平成29年5月発生分	438.2
溶融飛灰-8	390	44	0.27	340	<0.1	59	540	19,000	220	10以下	10	48	58	平成29年6月発生分	412.7
溶融飛灰-9	320	120	0.27	300	<0.1	55	540	16,000	200	10以下	10	35	45	平成29年7月発生分	448.2
溶融飛灰-10	260	76	0.23	270	<0.1	54	520	9,800	160	10以下	10	38	48	平成29年8月発生分	215.1
溶融飛灰-11	310	550	0.18	170	<0.1	91	670	14,000	120	10以下	10	36	46	平成29年12月発生分	332.5
溶融飛灰-12	560	260	0.23	240	<0.1	120	820	13,000	100	10以下	10	25	35	平成30年1月発生分	396.1

4319.3

煙道スラグ ①

煙道スラグ-1	7,300	0.10%	0.77	0.06%	—	0.05%	0.35%	2.3%	<0.05%	10以下	※1 1,100	※1 1,500	※1 2,600	H23.10.31発生分	119.1
										10以下	※2 180	※2 1,200	※2 1,380		
煙道スラグ-2	22,000	0.09%	0.78	0.08%	—	0.06%	0.34%	3.6%	<0.05%	10以下	1,200	1,600	2,800	H23.10.28～29発生分	52.6
煙道スラグ-3	17,000	0.14%	0.43	0.07%	—	<0.05%	0.22%	4.3%	0.06%	10以下	560	900	1,460		
煙道スラグ-4	4,400	0.17%	0.47	<0.05%	—	<0.05%	0.27%	9.8%	0.09%	10以下	320	540	860	H24.6.1 (82.9kg)	82.9

336.1

煙道スラグ ②

煙道スラグ-5	3,600	77	0.72	460	<0.1	400	3,200	17,000	0.5未満	10以下	43	230	273	H27.12 JV清掃	91.1
煙道スラグ-6	4,400	50	0.60	440	<0.1	510	3,700	18,000	0.5未満	10以下	21	110	131	H27.12 JV清掃	※3 121.4
煙道スラグ-7	5,300	2,100	0.82	620	<0.1	410	3,000	26,000	410	10以下	34	190	224	H28.2.23発生分	110.0
煙道スラグ-8	2,900	2,100	0.78	500	<0.1	350	2,600	28,000	830	10以下	23	140	163	H28.2.24発生分	40.0
煙道スラグ-9	5,000	1,800	0.71	570	<0.1	400	3,000	26,000	80	10以下	28	200	228	H28.2.25発生分	62.0
煙道スラグ-10	3,000	1,100	0.64	610	<0.1	200	1,100	32,000	150	10以下	17	140	157	H29.3.28JV排清掃	28.6
煙道スラグ-11	3,000	1,700	0.72	940	<0.1	230	1,000	26,000	110	10以下	17	160	177	H29.6.29JV排清掃	98.6
煙道スラグ-12	2,600	1,400	0.74	870	<0.1	200	1,500	18,000	190	10以下	16	140	156	H29.7.30JV排清掃	63.8
煙道スラグ-13	3,100	2,600	1.10	860	<0.1	350	3,000	34,000	140	10以下	16	140	156	H29.12.22発生分	79.0
煙道スラグ-14	3,800	2,100	0.95	820	<0.1	360	3,000	53,000	320	10以下	14	140	154	H29.12.22発生分	123.0

817.5

注:※1 放射性物質 平成23年測定結果

※2 放射性物質 平成29年測定結果

※3の重量は風袋込の重量

溶融飛灰-1～12、煙道スラグ-7～14

試料採取機関：	南信環境管理センター（株）、諏訪湖流域下水道事務所ほか
試料採取年月日：	平成29年9月～平成30年1月
試料分析機関：	南信環境管理センター（株）
分析年月日：	平成29年9月～平成30年3月
分析方法：	Au、Ag、Cu、Pd－誘導結合プラズマ発光分光分析法

溶融飛灰-1～4、煙道スラグ-7～9

諏訪湖流域下水道事務所
平成28年8月～平成29年3月
ミヤマ(株)
平成28年8月～平成29年3月
ゲルマニウム半導体検出器を用いたガンマ線スペクトロメトリーによる核種分析

煙道スラグ-5、6

試料採取機関：	南信環境管理センター（株）、諏訪湖流域下水道事務所ほか
試料採取年月日：	平成27年9月～平成28年2月
試料分析機関：	南信環境管理センター（株）
分析年月日：	平成27年9月～平成28年3月
分析方法：	Au、Ag、Cu、Pd－誘導結合プラズマ発光分光分析法

溶融飛灰-5～12、煙道スラグ-10～14

諏訪湖流域下水道事務所
平成29年8月～平成30年2月
(株)環境技術センター
平成29年9月～平成30年2月
ゲルマニウム半導体検出器を用いたガンマ線スペクトロメトリーによる核種分析

煙道スラグ- 1～4

試料採取機関：	社団法人 長野県薬剤師会検査センター
試料採取年月日：	平成24年10月
試料分析機関：	社団法人 長野県薬剤師会検査センター
分析年月日：	平成24年10月
分析方法：	Au、Ag、Cu、Pd、Cd、Pb、As、Se－誘導結合プラズマ質量分析法

煙道スラグ-1、2

(財)長野県下水道公社南信管理事務所
平成23年11月
(株)北陸環境科学研究所
平成23年11月
ゲルマニウム半導体検出器を用いたガンマ線スペクトロメトリーによる核種分析

試料採取機関：	
試料採取年月日：	
試料分析機関：	
分析年月日：	
分析方法：	

煙道スラグ-3、4

諏訪湖流域下水道事務所
平成24年6月
(株)環境技術センター
平成24年6月
ゲルマニウム半導体検出器を用いたガンマ線スペクトロメトリーによる核種分析

試料採取機関：	
試料採取年月日：	
試料分析機関：	
分析年月日：	
分析方法：	

煙道スラグ-5、6

諏訪湖流域下水道事務所
平成28年2月
(株)環境技術センター
平成28年2月
ゲルマニウム半導体検出器を用いたガンマ線スペクトロメトリーによる核種分析